

分野	23	地域福祉・生活の安定	<b>通番 48</b>
施策	232	生活の安定の確保	
<b>5年後の目標</b>		生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>福祉なんでも相談事業</b>		会計	款	項	目	0	社会福祉課
			一般	3	1	1		
事業の概要								
福祉や生活上の問題を気軽に相談できる福祉なんでも相談室の機能の充実を図り、問題の整理と必要な支援、制度利用のための総合調整・案内を円滑・適切に実施し、市民の総合的な相談に対応します。								


令和元年度の取組							
D (取組)	指標	福祉に関する相談件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	780	810	840	870	900
	878(平成26年度)	実績	842	788	983	1037	
		・福祉の総合相談窓口として、福祉専門職の相談員3名を配置しています。生活困窮や就労に関する相談を始め、高齢や障がい、一人親家庭などに関する社会的サービスの相談に応じ、各関係機関につなぎ、また、連携を取りながら支援をしました。					

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和元年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・広報紙で相談室の紹介記事が掲載されたこともあり、相談のべ件数は、前年度に比べ54件増加し、身近な福祉の総合相談窓口として「福祉なんでも相談室」が定着してきています。	
	課題等	・「生活困窮者対策庁内ネットワーク会議」や「自殺対策庁内ネットワーク会議」を通して、福祉なんでも相談室の役割が庁内関係部署に浸透しつつあります。庁内部署との連携をはじめ、他の支援機関など、関係機関と連携を強化し支援する必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	・「生活困窮者対策庁内ネットワーク会議」や「自殺対策庁内ネットワーク会議」を通して、庁内関係部署や各関係機関との連携を強化しながら、制度の谷間に埋もれている人を必要な社会制度につなげ支援します。

分野	23	地域福祉・生活の安定	<b>通番 49</b>
施策	232	生活の安定の確保	
<b>5年後の目標</b>		生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>市営住宅の計画修繕事業</b>		会計	款	項	目	33,638,000	住宅営繕課
			一般	8	5	1		
事業の概要								
長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理及び耐久性の向上や高齢者に対応した住宅改修を実施します。 民間賃貸住宅入居者への家賃補助制度の恒久化や空き家の利活用等について検討します。								

令和元年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づいた改修の実施率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	44.4(平成26年度)	目標	66.6	77.7	88.8	100.0	※平成31年度策定の次期長寿命化計画に基づく指標設定
		実績	66.6	77.7	88.8	91.6	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市営今里住宅の外壁、屋根、共用部等の改修を行いました。同時に浴室の改修、手すりの設置、玄関ドアの改修等の室内の改修を、全室4戸で行いました。</li> <li>市営中開田住宅について、庁内の調整会議の場において検討を行い、今後の事業の実施について一定の方針を決定しました。</li> <li>市営中開田住宅について、解体工事設計を行いました。</li> </ul>					今里住宅外部改修後		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和元年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営今里住宅の改修工事を行い計画どおり完工し、施設の長寿命化や住戸内の福祉対応等を実施しました。</li> <li>市営中開田住宅の解体工事設計を行い計画通り設計を完成しました。</li> <li>市営中開田住宅の建替えについては現計画通りに進捗していないため、解体工事の着手には至らず、建替え工事の設計も着手には至りませんでした。</li> </ul>
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>現長岡京市営住宅等長寿命化計画(計画期間令和2年度まで)の中に、令和元~2年度の事業として中開田住宅の建替えが含まれています。都市計画道路区域内にあるため、現地建替え及び非現地建替えを含め詳細な検討が必要です。既存の中開田住宅の解体については設計が完成し、計画期間内に解体が完了する見通しですが、建替えについては次期長寿命化計画の策定の中で、現計画の終期へ向けて事業の実施を判断する必要があります。</li> </ul>		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>現長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき、計画年度に該当する中開田住宅については、計画に沿って解体工事を実施します。</li> <li>中開田住宅の建替えについては、京都府及び関係部局と連携し、引き続き実施の可否について検討するとともに、次年度に実施する次期長寿命化計画の策定の中で、事業の実施について判断します。</li> </ul>